

◎何故3歳、5歳、7歳なの?



◎数え年でやるの?満年齢でやるの?

昔から奇数はめでたい数とされ、江戸時代に武家の子供が3歳で男女とも髪を伸ばし始め(髪置)、5歳で男の子は袴をはくようになり(袴着)、7歳で女の子は帯を結ぶようになる(帯解)のが一般庶民にも広まつたためです。

昔は数え年でやるのが一般的でした。現代ではお子様の負担を考えて、満年齢でやる方が多いようです。決まりは無いのでご家族の都合や、お子様の生まれ月や成長具合で決めて問題ありません。

この度は誠におめでとうございます。
この冊子は、記念日の意味合いや所作を知つていただくこと、記念日をより一層、有意義に過ごしていただくために生まれました。皆様の記念日の想いでをデザインできたのなら幸いです。良き一日となることを願つております。

カネマタ衣裳店 スタッフ一同



ネットレンタル
七五三



ネットレンタル
訪問着・色無地

KANEMATA
— つなぐ想いで —

〒475-0855 愛知県半田市中町1-74
TEL 0569-21-1085
AM9:00～PM6:00[定休日:水曜]
(祝日の場合は営業)

想ひで惟い（おもいでおもい）

七五三

～記念日の想いでをデザインする着物レンタル～

KANEMATA ANNIVERSARY STYLEBOOK



七五三は、3歳男女の「髪置」、5歳男の子の「袴着」、7歳女の子の「帯解」のお祝いが由来とされています。平安時代は子供の死亡率が高かつたため7歳までは、人間として「一人前」ではなく現世に命がしつかり定着していない、「神の子」とされていました。室町時代には生まれて3～4年経たなければ当時の戸籍に登録もされませんでした。そのため、これまで無事に成長できることとこれから健康を願い、神様にお祈りと感謝をするのが七五三の本来の目的です。

するの?
どう
脱ぐ時は

[女の子]

小物を抜き、結んである紐を解いていくと簡単にお着替えが出来ます。お洋服を着る前に髪飾りが引っかからないよう先に外してあげてください。

[男の子]

まず初めに羽織紐(房のこと)を外してください。結び目を解く必要はなく、付け根に金具がついているのでそれを外してください。後は順に紐を解いていくと簡単にお着替えが出来ます。

着て
いくの?
祖
父母
や
親

[女性]

- 和装なら訪問着、付け下げ、色無地のいずれか
- 洋装ならスーツやワンピースなどのフォーマル

[男性]

- 和装なら着物に羽織、もしくは着物羽織に袴
 - 洋装ならスーツ
- あくまでもメインはお子様になるので派手すぎず、カジュアルすぎない格好がベストです。お子様と同格になってしまふ結婚式で着るような留袖や黒紋付袴は避けた方が無難です。

トイレは
どう
行くの?

- ①両袖を邪魔にならないよう正面で結びます。(特に女の子)
- ②着物、長襦袢の順に一枚ずつめくり持ち上げます。ずり落ちないように2枚を全部まとめてしっかりと手で持ってください。特に背中側をしっかりと上げてください。

お参りの最中に
小物が抜けて
しまった。どう
戻せばいいの?

[女の子の箱セコ、扇子]

箱セコは胸元に差し込みます。

扇子は帯締めと帯の間に挿してください。

[男の子の懐剣、扇子]

懐剣は正面から見て右側、帯と袴の間に真っ直ぐ差込み、衿側に少し倒してください。

扇子は右手に軽く持ってください。使わない時は懐剣の左隣に同じように差します。

CEREMONY STYLE & MANNERS



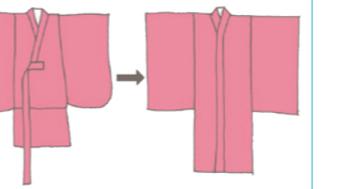
お参りは
靴?
草履?

神社に行くまでは履きなれて
いる靴で歩き、いよいよお参り
となったらお草履に履き替える
のがおすすめです。



お宮参りで
使った初着を
着れるの?

3歳であれば男女共に使え
ます。半衿をつけたり等のお
直しが必要です。



何を着て
いくの?

[3歳の女の子、男の子]

被布もしくは三つ身(被布は
帯を巻かないため、体の負担
が少ない着物です)

[5歳の男の子]

四つ身

[7歳の女の子]

四つ身

三つ身(3歳の男の子、女の子)



四つ身(5歳の男の子、7歳の女の子)



○前撮りはするもの?



○お参りはどうするの?

キレイに着物姿を残したいという方には、お参り日より前に撮影するのがおすすめです。写真館によりドレスなどを置いている所も多いので和装以外の写真も残せます。当日のお出掛け前に撮る人や、写真だけでお参りには行かないという方もいるので、それぞれの都合を優先してください。時期としては日焼けする前がおすすめです。歯の生え変わりの時期でもあるので注意が必要です。

○大安の日じゃないとダメ?

普段神社に行く時と同じように、お参りとお賽錢だけでも大丈夫です。神社できちんとご祈祷をあげてもらう場合は、予約が必要な所もあるので事前に確認しておくと安心です。その際、初穂料や玉串料(ご祈祷をあげてもらったお礼の料金)も聞いておくのがおすすめです。

○食事は?

午前中にお参りを済ませ、着替えた後、参加した祖父母などと一緒にレストランやご自宅で食べられる方が多いようです。出席される方々と事前に相談しておいてもいいかもしません。